

令和4年(2022年)11月29日

物価高騰対策や体育館エアコン設置など 越谷市補正予算案

越谷市では、「物価高騰対策」や「体育館へのエアコン設置事業費」などを盛り込んだ27億円の一般会計補正予算を12月1日開会の市議会定例会に提案します。

このうち、物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援として、所得に関係なく、18歳以下の子どもがいる世帯に対し、子ども1人あたり1万円の特別給付金を支給するため、5億3,600万円を計上します。

また、光熱費が高騰していることなどを受け、省エネエアコン(※)への買い換えに、10万円を上限に対象経費の50%を補助するための費用や、障がい者福祉施設や介護サービス事業所、私立保育園などに対して負担を軽減するための支援金を計上します。

新たな事業としては、市内小中学校42校の体育館と中学校14校の武道場に、エアコンや防災設備を設置するため、設計委託料(6,540万円)を計上します。今年度から設計を始め、各校への設置工事は、令和5年度(2023年度)から令和7年度(2025年度)の3か年で順次行ってまいります。

このほか、新型コロナウイルス感染症対応として、年末年始などの診療、検査体制の拡充に向けた費用のほか、「小中一貫校整備PFI事業」について、今年12月下旬から公募手続きを行うための関連予算(債務負担行為の変更)も計上しています。

(※) 省エネ法で定める基準に基づく「統一省エネラベル」で4つ星以上の製品が対象